

交通安全啓発ステッカーの贈呈・街頭啓発出発式が開催されました

令和3年に自動車関連団体が実施した「信号機のない横断歩道での歩行者横断時における車の一時停止状況調査」において、和歌山県の一時停止率は18.4%（全国平均30.6%）と全国ワースト5位という結果となり、和歌山県では県警察と連携して、本年7月から横断歩行者事故の抑止を目的とした「サイン+サンクス運動を」実施し、歩行者に対し、安全に横断歩道を渡るための行動を呼び掛けています。

今回、和歌山県より当協会に大型ステッカーが寄贈され、当協会員の4事業者にご協力頂き、和歌山県内を運行するトラックの後部に貼って頂くこととなり、贈呈・街頭啓発出発式が令和4年9月15日に和歌山市内の和歌山交通公園駐車場で開催されました。

【協力事業者】

(株)オプラス・佐川急便(株)・ヤマト運輸(株)・(株)和田物流

